

高井戸第四小学校

あなたの欲しいもの、知りたいことが、ここにはある

今の学校図書館

学校教育目標の「進んで学ぶ子」「心豊かな子」「たくましい子」「協働する子」を達成するために必要な情報を選び、表現する力を付け、予測不可能な未来を生きるたくましさを育て、生涯学習の基礎が身に付くよう図書館利用や情報活用の指導を行っている。

探究的な学習への支援、学んだことを友だちと共有し高め合うことのできる態度の育成、また、子どもの心の発達にあった本を取り入れた読書活動などを行うことで、豊かな心をはぐくむ場となることを目指している。

学校図書館の運営

- 読書センターとして
さまざまな機会を利用して、読書への意欲を喚起する。
- 学習センター・情報センターとして
教育課程の展開に合わせて、各教科・各学年の学習に必要な資料を検討・収集し、課題解決学習に寄与する。また、教職員のニーズに合う蔵書をそろえる。

1年間の主な活動

- 読書旬間(年2回)の実施
- 図書館利用指導
- 読み聞かせ・ブックトーク・アニメーション・素話などの読書推進活動
- 図書館だよりの発行
- お話会の実施
- たかしおすすめ本
- ボランティアや保護者による読み聞かせ等
- 「卒業生に贈るブックリスト」作成

特色ある取組

- 学年ごとの取り組み(月替わりで図書館前の廊下に帯・本の紹介などを作成し掲示)



レオ＝レオニの本



本の帯

キャッチコピー
をつけて紹介

- たかしおすすめ本(読んだ冊数に応じて表彰)
- お話会(学期に一回地域の文庫の方に来ていただき、素話を聞く)



- ボランティアによる読み聞かせ(朝と昼休みに実施)



これからの学校図書館

読書センターとしては、読み聞かせの他、アニメーションや教科に連動した本の紹介などを取り入れ児童の興味や関心を引く活動を行っていく。また、保護者や地域の方々と連携し読み聞かせ等の活動を継続していく。

学習センター・情報センターとしては、資料を充実させ図書館を活用した授業に対応できるようにする。その上で、学校図書館を探究学習で活用できることを周知し、利用指導や学習活動での支援を行う。その際、ICT支援員とも協働を図る。